

①－（2）

同別表

別表 1

市区町村・検診機関が検診実施体制を自己点検・評価するためのチェックリスト 胃がん検診

1. 受診者の情報管理

評価項目	点数
(1) 受診者数を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(1-a) 受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しているか	2
(2-a) 受診者に占める前回未受診者の割合を把握しているか	2
(3) 要精検率を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(3-a) 要精検率の年次推移を検討しているか	1
合計	/10点

2. 精検受診率の把握（受診者へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 精検受診率を把握しているか	2
(1-a) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) 精検受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 精検未受診者の受診勧奨を行っているか	2
(2-a) 精検未受診者にその理由を調査しているか	2
(2-b) 精検未受診者の予後について追跡調査を行っているか	1
合計	/10点

3. 精密検査結果の把握（精密検査機関へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) がん発見率を把握しているか	2
(1-a) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(1-c) がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(2) 早期がん発見率（発見がん数に対する早期がん数）を把握しているか	2
(2-a) 早期がん発見率を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(2-b) 早期がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(2-c) 早期がん発見率を受診歴別に検討しているか	1

(3) 陽性反応適中度（精検受診者における発見がんの割合）を把握しているか	2
(3-a) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(3-b) 陽性反応適中度の年次推移を検討しているか	1
(3-c) 陽性反応適中度を受診歴別に検討しているか	1
(4) 発見がん患者の入院先や治療方法（手術の有無など）を把握しているか	1
(4-a) 予後調査を実施しているか	1
合計	/20点

4. 撮影の精度管理

評価項目	点数
(1) 日本消化器集団検診学会認定の胃がん検診専門技師はいるか	2
(2) 技師のための技術研修機会を提供しているか	1
(3) 受診者の体型や状態に応じて標準撮影以外の撮影を加えるなどの工夫をしているか	1
(4) X線装置の保守点検を定期的に行っているか	1
合計	/5点

5. 読影の精度管理

評価項目	点数
(1) 読影はダブル・チェックか	2
(2) 読影のための検討会や委員会を設置しているか	1
(3) 読影医は充足しているか	1
(4) 読影医は全員消化器を専門とする医師か	1
合計	/5点

別表 2

市区町村・検診機関が検診実施体制を自己点検・評価するためのチェックリスト 大腸がん検診

1. 受診者の情報管理

評価項目	点数
(1) 受診者数を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(1-a) 受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しているか	2
(2-a) 受診者に占める前回未受診者の割合を把握しているか	2
(3) 要精検率を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(3-a) 要精検率の年次推移を検討しているか	1
合計	/10点

2. 精検受診率の把握（受診者へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 精検受診率を把握しているか	2
(1-a) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) 精検受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 精検未受診者の受診勧奨を行っているか	2
(2-a) 精検未受診者にその理由を調査しているか	2
(2-b) 精検未受診者の予後について追跡調査を行っているか	1
合計	/10点

3. 精密検査結果の把握（精密検査機関へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) がん発見率を把握しているか	2
(1-a) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(1-c) がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(2) 早期がん発見率（発見がん数に対する早期がん数）を把握しているか	2
(2-a) 早期がん発見率を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(2-b) 早期がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(2-c) 早期がん発見率を受診歴別に検討しているか	1

(3) 陽性反応適中度（精検受診者における発見がんの割合）を把握しているか	2
(3-a) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(3-b) 陽性反応適中度の年次推移を検討しているか	1
(3-c) 陽性反応適中度を受診歴別に検討しているか	1
(4) 発見がん患者の入院先や治療方法（手術の有無など）を把握しているか	1
(4-a) 予後調査を実施しているか	1
合計	/20点

4. 検査の精度管理

評価項目	点数
(1) 検査機器の保守点検を定期的に行っているか	1
(2) 技師のための技術研修機会を提供しているか	1
(3) 検診機関では検体を受領後冷蔵保存しているか	2
(4) 検体受領後24時間以内に測定しているか	2
(5) 測定結果報告は検体回収後1週間以内になされているか	1
合計	/7点

5. 検体の取り扱い

評価項目	点数
(1) 検便方法についてチラシやリーフレットを用いて説明しているか	2
(2) 検便採取後即日（2日目）回収を原則としているか	2
(3) 検便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するように指導しているか	2
(4) 検体回収後即日検診機関へ引き渡すことを原則としているか	2
合計	/8点

別表 3

市区町村・検診機関が検診実施体制を自己点検・評価するためのチェックリスト
乳がん検診

1. 受診者の情報管理

評価項目	点数
(1) 受診者数を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(1-a) 受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しているか	2
(2-a) 受診者に占める前回未受診者の割合を把握しているか	2
(3) 要精検率を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(3-a) 要精検率の年次推移を検討しているか	1
合計	/10点

2. 精検受診率の把握（受診者へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 精検受診率を把握しているか	2
(1-a) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) 精検受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 精検未受診者の受診勧奨を行っているか	2
(2-a) 精検未受診者にその理由を調査しているか	2
(2-b) 精検未受診者の予後について追跡調査を行っているか	1
合計	/10点

3. 精密検査結果の把握（精密検査機関へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) がん発見率を把握しているか	2
(1-a) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(1-c) がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(2) 早期がん発見率（発見がん数に対する早期がん数）を把握しているか	2
(2-a) 早期がん発見率を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(2-b) 早期がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(2-c) 早期がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(3) 陽性反応適中度（精検受診者における発見がんの割合）を把握しているか	2
(3-a) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(3-b) 陽性反応適中度の年次推移を検討しているか	1
(3-c) 陽性反応適中度を受診歴別に検討しているか	1
(4) 発見がん患者の入院先や治療方法（手術の有無など）を把握しているか	1
(4-a) 予後調査を実施しているか	1
合計	/20点

4. 撮影の精度管理

評価項目	点数
撮影機器に関する精度管理	
(1) 乳房 X 線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準を満たしているか	2
* (1-a) または (1-b) のいずれかを選択	
(1-a) スクリーン/フィルム システムの場合	
① 高感度、高コントラストの系であるか	1
② 自動現像機は、適切な現像温度 (34-36℃程度) と現像時間 (90-110秒程度) に設定されているか	1
(1-b) デジタルマンモグラフィの場合	
① 最適なパラメーターで出力されているか	1
② 左右の乳房の比較が容易なマンモグラムであるか	1
(2) 乳房 X 線撮影装置の品質管理 (※1) を行っているか	1
(2-a) マンモグラフィ検診精度管理中央委員会等が実施する施設画像評価を受け、その判定が A または B であるか	2
撮影技師に関する精度管理	
(3) マンモグラフィ撮影に従事する診療放射線技師がいるか	1
(3-a) 技師はマンモグラフィ検診精度管理中央委員会等が実施するマンモグラフィ撮影講習会 (※2) を修了し、その評価試験の結果が A または B であるか	2
合計	/10点

5. 読影の精度管理

評価項目	点数
(1) 医師はマンモグラフィ検診精度管理中央委員会等が実施するマンモグラフィ読影講習会を修了し、その評価試験の結果が A または B であるか	2
(2) 読影はダブルチェックか	2
(2-a) ダブルチェックを行なう医師はマンモグラフィ検診精度管理中央委員会等が実施するマンモグラフィ読影講習会を修了し、その評価試験の結果が A であるか	2
(3) マンモグラム読影時には、専用の高輝度シャウカステンを用いているか	1
(4) 繰返し受診者においては、過去のマンモグラムとの比較読影ができるか	1
(5) 視触診との同時併用方式を採用しているか	1
(6) システムとしての精度管理委員会を設置しているか (精度管理の項目の作成等)	1
合計	/10点

※1 「マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル」参照

大内憲明 (編) マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル, 改定第2版, 日本医事新報社, 東京, p35-48, 2001

※2 基本講習プログラムに準じた講習会とは、検診関連6学会 (日本乳癌検診学会, 日本乳癌学会, 日本医学放射線学会, 日本産科婦人科学会, 日本放射線技術学会, 日本医学物理学会) から構成されるマンモグラフィ検診精度管理中央委員会の教育・研修委員会の行う講習会等をいう。なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班, 「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班および日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む。

別表 4

市区町村・検診機関が検診実施体制を自己点検・評価するためのチェックリスト 肺がん（胸部 X 線）

1. 受診者の情報管理

評価項目	点数
(1) 胸部 X 線の受診者数を性別・年齢（5 歳階級）別に集計しているか	2
(1-a) 受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 胸部 X 線の個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しているか	2
(2-a) 受診者に占める前回未受診者の割合を把握しているか	2
(3) 胸部 X 線の要精検率を性別・年齢（5 歳階級）別に集計しているか	2
(3-a) 要精検率の年次推移を検討しているか	1
合計	/10点

2. 精検受診率の把握（受診者へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 胸部 X 線の精検受診率を把握しているか	2
(1-a) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) 精検受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 胸部 X 線の精検未受診者の受診勧奨を行っているか	2
(2-a) 精検未受診者にその理由を調査しているか	2
(2-b) 精検未受診者の予後について追跡調査を行っているか	1
合計	/10点

3. 精密検査結果の把握（精密検査機関へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 胸部 X 線のがん発見率を把握しているか	2
(1-a) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(1-c) がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(2) 胸部 X 線の臨床病期 I 期がん発見率（発見がん数に対する臨床病期 I 期がん数）を把握しているか	2
(2-a) 臨床病期 I 期がん発見率を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(2-b) 臨床病期 I 期がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(2-c) 臨床病期 I 期がん発見率を受診歴別に検討しているか	1

(3) 胸部 X 線の陽性反応適中度（精検受診者における発見がんの割合）を把握しているか	2
(3-a) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(3-b) 陽性反応適中度の年次推移を検討しているか	1
(3-c) 陽性反応適中度を受診歴別に検討しているか	1
(4) 胸部 X 線の発見がん患者の入院先や治療方法（手術の有無など）を把握しているか	1
(4-a) 予後調査を実施しているか	1
合計	/20点

4. 撮影の精度管理

評価項目	点数
(1) 撮影機器は以下のいずれかであるか	2
* 間接撮影の場合は 100mm ミラーカメラで、かつ定格出力 150KV 以上の撮影装置で 120KV 以上の管電圧の間接撮影、または定格出力 125KV 以上の撮影装置で 110KV 以上の管電圧の間接撮影（希土類蛍光板を用いる）	
* 直接撮影の場合は、定格出力 150KV 以上の撮影装置で 120KV 以上の管電圧および希土類システム（希土類増感紙およびオルソタイプフィルム）の高圧直接撮影、100-120KV の管電圧および希土類システム（希土類増感紙およびオルソタイプフィルム）の直接撮影も許容される	
(2) 撮影機器の保守点検を定期的に行っているか	1
(3) 技師のための技術研修機会を提供しているか	1
(4) 撮影した写真の客観的評価を行っているか	2
合計	/6点

5. 読影の精度管理

評価項目	点数
(1) 読影医のうち呼吸器ないし放射線診断を専門とする医師の占める割合が50%以上か	2
(2) 読影はダブル・チェックか	2
(3) 二重読影の後、前年の写真と共に比較読影を行っているか	2
(4) 二重読影の後、前々年の写真も含めて比較読影を行っているか	1
(5) 読影のための検討会や委員会を設置しているか	1
合計	/8点

別表 5

市区町村・検診機関が検診実施体制を自己点検・評価するためのチェックリスト 肺がん（喀痰細胞診）

1. 受診者の情報管理

評価項目	点数
(1) 喀痰細胞診の対象者数を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	1
(1-a) 喀痰細胞診対象者率の年次推移を検討しているか	1
(2) 喀痰細胞診の受診者数を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(2-a) 受診率の年次推移を検討しているか	1
(3) 喀痰細胞診の個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しているか	1
(3-a) 受診者に占める前回未受診者の割合を把握しているか	2
(4) 喀痰細胞診の要精検率を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	1
(4-a) 要精検率の年次推移を検討しているか	1
合計	/10点

2. 精検受診率の把握（受診者へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 喀痰細胞診の精検受診率を把握しているか	2
(1-a) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) 精検受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 喀痰細胞診の精検未受診者の受診勧奨を行っているか	2
(2-a) 精検未受診者にその理由を調査しているか	2
(2-b) 精検未受診者の予後について追跡調査を行っているか	1
合計	/10点

3. 精密検査結果の把握（精密検査機関へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 喀痰細胞診のがん発見率を把握しているか	2
(1-a) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(1-c) がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(1-d) 喀痰細胞診からのみによるがん発見率を把握しているか	1

(2) 喀痰細胞診の臨床病期 I 期がん発見率（発見がん数に対する臨床病期 I 期がん数）を把握しているか	2
(2-a) 臨床病期 I 期がん発見率を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(2-b) 臨床病期 I 期がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(2-c) 臨床病期 I 期がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(3) 喀痰細胞診の陽性反応適中度（精検受診者における発見がんの割合）を把握しているか	2
(3-a) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計をしているか	1
(3-b) 陽性反応適中度の年次推移を検討しているか	1
(3-c) 陽性反応適中度を受診歴別に検討しているか	1
(4) 喀痰細胞診の発見がん患者の入院先や治療方法（手術の有無など）を把握しているか	1
(4-a) 予後調査を実施しているか	1
合計	/20点

4. 細胞診の精度管理

評価項目	点数
(1) 細胞検査士のための技術研修機会を提供しているか	2
(2) スクリーニングはダブルチェックか	2
(3) 発見例の、過去の細胞所見の見直しをしているか	2
(4) 呼吸器ないし総合を専門とする細胞診指導医が判定しているか	2
合計	/8点

5. システムとしての精度管理

評価項目	点数
(1) 喀痰細胞診の精密検査結果の報告を、精密検査担当施設から得ているか	2
(2) 診断のための検討会や委員会を設置しているか	2
(3) 陽性・疑陽性例でがん未確診例のフォローアップを精査担当施設に依頼しているか	1
(4) 陽性・疑陽性例でがん未確診例の予後調査を行っているか	1
(5) 喀痰細胞診による発見例と胸部 X 線による発見例を照合して、全体のがん発見率および全体の臨床病期 I 期がん発見率（発見がん数に対する臨床病期 I 期がん数）を把握しているか	2
合計	/8点

別表 6

市区町村・検診機関が検診実施体制を自己点検・評価するためのチェックリスト
子宮頸がん検診

1. 受診者の情報管理

評価項目	点数
(1) 受診者数を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(1-a) 受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 個人別の受診（記録）台帳またはデータベースを作成しているか	2
(2-a) 受診者に占める前回未受診者の割合を把握しているか	2
(3) 要精検率を性別・年齢（5歳階級）別に集計しているか	2
(3-a) 要精検率の年次推移を検討しているか	1
合計	/10点

2. 精検受診率の把握（受診者へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) 精検受診率を把握しているか	2
(1-a) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) 精検受診率の年次推移を検討しているか	1
(2) 精検未受診者の受診勧奨を行っているか	2
(2-a) 精検未受診者にその理由を調査しているか	2
(2-b) 精検未受診者の予後について追跡調査を行っているか	1
合計	/10点

3. 精密検査結果の把握（精密検査機関へのアプローチ）

評価項目	点数
(1) がん発見率を把握しているか	2
(1-a) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか	2
(1-b) がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(1-c) がん発見率を受診歴別に検討しているか	1
(2) 上皮内がん発見率（発見がん数に対する早期がん数）を把握しているか	2
(2-a) 上皮内がん発見率を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(2-b) 上皮内がん発見率の年次推移を検討しているか	1
(2-c) 上皮内がん発見率を受診歴別に検討しているか	1

(3) 陽性反応適中度（精検受診者における発見がんの割合）を把握しているか	2
(3-a) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計をしているか	2
(3-b) 陽性反応適中度の年次推移を検討しているか	1
(3-c) 陽性反応適中度を受診歴別に検討しているか	1
(4) 発見がん患者の入院先や治療方法（手術の有無など）を把握しているか	1
(4-a) 予後調査を実施しているか	1
合計	/20点

4. 細胞診の精度管理

評価項目	点数
(1) 細胞検査士のための技術研修機会を提供しているか	2
(2) スクリーニングはダブルチェックか	2
(3) 発見例の、過去の細胞所見の見直しをしているか	2
(4) 婦人科ないしは総合を専門とする細胞診専門医が判定しているか	2
合計	/8点

5. システムとしての精度管理

評価項目	点数
(1) 精密検査結果の報告を、精密検査担当施設から得ているか	2
(2) 診断のための検討会や委員会を設置しているか	1
(3) 陽性・疑陽性例でがん未確診例のフォローアップを精査担当施設に依頼しているか	1
(4) 陽性・疑陽性例でがん未確診例の予後調査を行っているか	1
合計	/5点